

KAGAWA アンバサダーからのお便り

～小林 純子さん～

2016年8月

香川県の皆さん、こんにちは。中国・上海から KAGAWA アンバサダーの小林純子です。

私は、香川県丸亀市で生まれ育ちました。東京体育大学卒業後は、テレビ制作会社に入社し、スポーツニュース番組やスポーツ中継のディレクターをしていました。2008年に北京オリンピックが開催されるのをきっかけに、2007年1月から中国に拠点を移し海外生活がスタートしました。



路面店でお茶を量り売りするおじさん



青空散髪



夏になるとお腹を出した人やパンツ一丁の男の人を見かけます

実際に中国に生活してみて、驚くことばかりでした。夏になればお腹を出した人、パンツ一丁の人が多くて（笑）。銀行のATMからはなんと偽札が2枚も!! 言葉が通じないのが理由かもしれませんが、買い物する時も気を抜けずに、何度か通常価格より高いお買い物もしてきました。おかげで中国で生きるという事、また中国人の生きる強さを徐々に理解してきました。2008年の北京オリンピック取材では、今までの仕事のやり方・常識は通りませんでした。逆に中国ルールを理解することによって積極的な取材活動を行うことができました。



2008年北京オリンピックの時の取材活動

上海万博をきっかけに上海に引越し、現在は、日本食文化を世界に広げるという想いで「ラボラトリー上海（共有型セントラルキッチン QS 工場）」で、日本から中国へ進出したいと考えている飲食業の方に向けてサポート・コンサル事業をしています。私たちの会社は中国で約14年間、飲食店の運営をやってきた実績があるので、そのノウハウを共有し、“チームジャパン”として食のプラットフォームを作り、異国の地で奮闘しています。中国の食について危ないイメージがあると思いますが、現在、中国の衛生局では食の安全確保に向け、全ての食材の流れを管理しようという壮大な計画があります。これが何年で完成するかわかりませんが、昨年打ちだされた新衛生法を軸に一次産業から三次産業までの透明化を試みています。それは弊社のラボラトリー工場に当局がタイムリーに確認できるカメラが設置されている事でもわかるように、着々と進んでいる事を実感します。



QS取得の食品加工工場であるラボラトリー上海

日本人にとって、中国に対してのイメージは、食の問題だけでなく、尖閣諸島の反日デモや大気汚染など、メディア情報の影響で、悪いイメージを持っている人もいますが、実際の中国は早いスピードで進化しています。

海を隔てた隣国同士である日本と中国は以前にも増して、政治・経済・観光において、重要なパートナーシップを築くことが大切。メディアの情報を鵜呑みにするのではなく、積極的に中国と関わりをもってほしいです。私は「チャイナ・ルール」という本や、雑誌で情報発信していますが、日本人にも中国人にも、お互いの歩んできた歴史や文化、習慣などの“違い”をしっかりと認識し認めたいうえで、少しずつでも双方が歩みよればという願いを持っています。



「チャイナ・ルール」

中国人向けの日本を紹介する雑誌「東京流通」香川県の特集

私個人のチカラは微力かもしれませんが、“香川県のエバンジェリスト（伝道師）”として、世界に香川県の良さをアピールしていきたいと思っています。香川県民の皆さまも、高松空港から上海・浦東空港までは飛行機で約2時間半。定期的に中国での香川県人が集まる会などもありますし、春秋航空という便利な交通手段もありますので、是非お気軽に中国にいらしてくださいね。



小林 純子 (こばやし じゅんこ) さん

創見餐飲管理（上海）有限公司 副總經理、北京欧迅体育文化股份有限公司 顧問。中華人民共和国・上海在住。
KAGAWA アンバサダーを平成 27 年 4 月 1 日に委嘱。

丸亀市出身。

報道関係の制作会社で、スポーツ中継やニュースの仕事に携わった後、2007 年より中国に拠点を移す。現在、上海で中国進出を希望する日本の飲食業者へのサポートを行っている。著書に「チャイナ・ルール」（双葉新書）。

☆KAGAWA アンバサダー事業について

香川県の名誉大使として、海外で広く香川を紹介していただいたり、県の活性化のために経済、観光、文化など幅広い分野で、情報提供や提言などをしていただいたりする事業です。

☆KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々に KAGAWA アンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されている KAGAWA アンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。